

最新鋭の施設が整備された鋳湯清掃工場

接運され、昭和六十二年に完成したプラスチック減容施設で処理し埋立てます。
ゴミ処理に年間約四千七百万円
 みなさんが何げなしに出しているゴミ。一家庭にすればほんのわずかな量でしかありませんが、岩室村全体では積もり積もって現在一日に約十トンの量になっています。年間になると約三千五百トとすごいゴミの量となります。この約三千五百トをこすゴミの処理経費をみると昭和六十三年度ではなんと約四千七百万円もの処理経費がかかっています。この処理経費を単純に世帯数(2,568世帯、平成元年3月末現在)で割ってみると、一世帯当たり約一万八千円の経費がかかっています。この処理経費もゴミの量に比例し増え続けています。そこで、巻町外三ヶ町村衛生組合でもいろいろな面で処理経費等の節減には努力しています

ゴミの分別は必ず
 ゴミを出すときは必ず分別して出してください。そうでないと処理するのに大変困ります。それに、これから夏場に向かい生ゴミの水切りは十分にやってから出して下さい。と鋳湯清掃工場長八百坂さん。

**ゴミにもちよっとした
 思いやりと工夫を**

これから、ますます増え続けるゴミ。このまま増え続ければ、焼却場も埋立地がなくなってしまう。こんなちよっとしたことでも、処理経費はグリーンと節減できます。

これから、暑い季節を迎え、各家庭でも水分の多いスイカやメロンなどをたくさん食べる季節です。これらの水分を多く含んだゴミは重量にはね返るばかりでなく、焼却炉へ投げ込まれて燃やすためにはたくさん燃料を使います。そのためこの時期は焼却炉の燃焼効率が一番悪くなる季節だといえます。

**夏場に増えるゴミの量
 こんなことに気をつけて**

これから、暑い季節を迎え、各家庭でも水分の多いスイカやメロンなどをたくさん食べる季節です。これらの水分を多く含んだゴミは重量にはね返るばかりでなく、焼却炉へ投げ込まれて燃やすためにはたくさん燃料を使います。そのためこの時期は焼却炉の燃焼効率が一番悪くなる季節だといえます。

**守ってほしい
 ゴミを囲むルール**

- ゴミは、決められた日以外には出さないでください。
- ゴミの持ち出しは当日の朝8時までに決められた所へ。
- 燃えるゴミと燃えないゴミは必ず分けてから。
- 生ゴミは、十分水切りをしてから出してください。
- 日曜日及び祝祭日は収集しませんからゴミは出さないでください。

もパンクしてしまいます。そうならば、当然新しい清掃工場の建設や埋立地の造成が必要で、みなさんからの負担も増えることとなります。そんなことにならないように、これからはみなさん一人ひとりがゴミに対するちよっとした工夫や思いやりが必要となってきます。ちよっとしたことでもゴミは減らすことができます。ゴミを出すのもみなさんなのです。ところで、最近では、あちこちでゴミを資源に変える方法や活動が盛んに取り組まれています。例えば、燃えるゴミの約半分は紙類です。新聞や雑誌、ダンボールなどは、古紙回収や小学校の廃品回収などのときに出したらいかがでしょうか。それに台所から出る生ゴミなどは、土に埋めたり、生ゴミ処理器などを使えばたい肥などになりますので、畑や園芸用の肥料としても利用ができます。こんなちよっとした工夫で、ゴミの量も随分減らすことができ一石二鳥です。



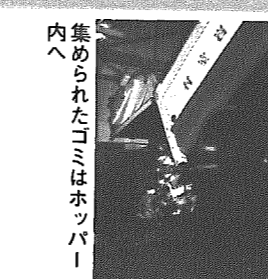
山のように積まれたゴミ山、(福井処分場)



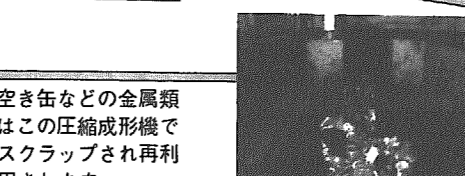
二基の焼却炉で焼却プラスチック、ビニール類はこの減容施設で処理



集められたゴミはホッパー内へ



クリーン操作もこのコントロール室から



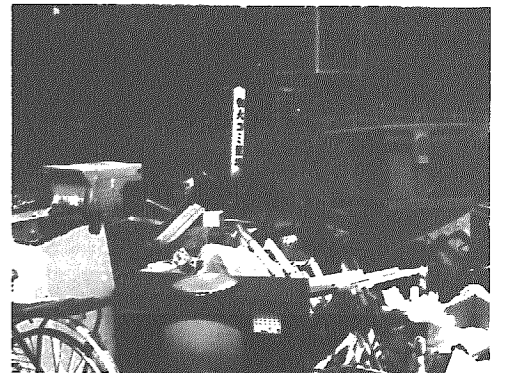
空き缶などの金属類はこの圧縮成形機でスクラップされ再利用されます

ゴミは可燃ゴミと不燃ゴミに分けて処理されます

わたしたちの生活の中から、必ず毎日出るゴミ。そのゴミも、最近では生活の多様化などから多種多様なゴミが出されています。一家庭にすれば、ほんの少しのゴミでも村内全体では莫大なゴミの量になります。それにこのゴミの搬出量も年々増え続けています。そこで今月号では、このゴミがどのような過程で処理されているのか、どのくらいの処理経費がかかるのか一緒にのぞいてみましょう。

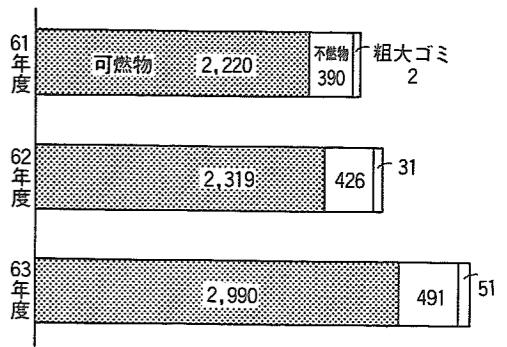
年々増えるゴミの量

毎日毎日、必ず各家庭から出されるゴミ。そのゴミには、台所から出る生ゴミ、紙くずなどの燃えるゴミ(可燃物)、缶詰やジュースの空き缶、それにガラスなどの燃えないゴミ(不燃物)、それに最近では、生活様式の高級化などが反映してかとくに多くなった家電品やいわゆる自転車などのゴミ(粗大ゴミ)があります。これらのゴミ、右のグラフからもわかるように年々増え続けています。



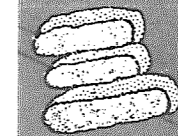
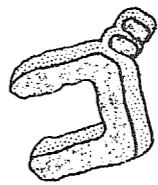
山のように積まれた粗大ゴミ(旧役場脇体育館)

ゴミの搬入量の推移(単位:t)



ちよっととした工夫で減らせます

増え続ける



そして、これらのゴミは一部は家庭内で処理されているものもありますが、そのほとんどが各地区のゴミステーションに出されます。そうして出されたゴミは、ゴミ収集車で集められ、湯東村にある鋳湯清掃工場へ運ばれていきます。ここで可燃ゴミは二つの焼却炉で燃やされ、空き缶やガラスなどの不燃ゴミは破砕器にかけるから巻町福井にある福井一般廃棄物最終処分場へと運ばれ処理されます。また、最近とくに多くなったプラスチックや発泡スチロールなどのビニール系ゴミ。これについては、福井処分場へ直

**みなさんから出されたゴミ
 どのように処分されるの**

2台の収集車で村内を収集に回ります



みなさんから出されたゴミ。ゴミステーションから処理がスタートします

